

2021 三重国民体育大会選手選考規定

(一財)福岡陸上競技協会

1 目的

当該年度の国民体育大会において、最も高い得点を獲得できる競技者を代表選手として選出し選手団の編制を行う。

2 参加資格

(1)福岡陸上競技協会に登録している者。

(2)「ふるさと選手制度」を利用できる者。

※福岡陸協の「陸上競技会のご案内」の「ふるさと選手制度についての説明」を参照

(3)福岡県の「国体選考会」と銘打ってある競技会に出場(当該種目)している者。

①国体最終選考会 ②福岡県選手権大会 ③全国高校福岡県大会

④国体最終選考会ブロック予選会 ⑤福岡県中学通信陸上 ⑥福岡県中学陸上

⑦西日本記録会 ⑧朝日記録会 ⑨福岡県夏季記録会兼国体選考会(300m、300mH、3000mW)

※日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者を除く。

(4)「国体最終選考会」にエントリー(成年)している者。

3 選考基準

(1)成年

① 県選手権・国体最終選考会出場を原則とし、日本選手権および当該年度最高記録を参考に選考する。(日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者については国体選考会に出場および申し込みをしていなくても、日本選手権および今年度ランキングで選考する場合がある。)

(2)少年A(高校2・3年生)・少年共通

① 原則として、全国高校総体入賞者(複数の場合は上位者)を選考する。

② 本年度最高記録(2番目の記録も参考にする)及び本年度の競技実績を考慮して選考する。

(3)少年B(高校1年生・中学3年生)

① 高校1年生は国体最終選考会(ブロック予選を含む)の結果を重視する。

② 本年度最高記録(2番目の記録も参考にする)を参考に選考する。

③ 高校1年生と中学3年生の比較については、当該年度の最高記録や競技実績を考慮して選考する。

(4)リレーの編制についての方針と判断基準

① リレー候補者4名のうち2名がBランク・1名がCランク以上の場合、この3名に加え、リレー要員の1名を選考しリレーチームを編成する。

② リレーメンバーの戦力分析(100m記録の4名合計)を行い、入賞レベルと判断できる場合は、リレー要員も選考しリレーチームを編成する。

③ ①②以外の場合はリレー要員の選考は行わず、選考された競技者でリレーチーム編成を検討する。ただし、個人種目に支障がないことを条件とする。

④ リレー要員の選考においては、リレーの種目特性(バトン技術等)も考慮し選考する。

⑤男女4×100mR、混合4×400mR エントリーについては個人種目との兼ね合いで決定する。

4 選考手順

- (1) 各種目で下記ランクの順に候補者を選出し、種目間比較を行い他都道府県の分析を行いながら、上位入賞の可能性がより高いものから選考する。
- (2) Aランク
 - 全国大会3位入賞者、またはランキング3番以内の競技者。
- (3) Bランク
 - 全国大会6位入賞者(準決勝の状況も参考にする)、またはランキング6番以内の競技者。
- (4) リレー関連種目
 - リレー要員を選考する場合。(3-(4)参照)
- (5) Cランク
 - 記録が全国大会7位ライン(※3)到達者、またはランキング12番以内の競技者。
- (6) Dランク
 - 国体選考会および県選手権以降の記録が、全国大会入賞ライン、前回国体入賞ラインにより近い競技者の中から、本大会で活躍が期待できる競技者を選考する。

※1 全国大会とは、日本選手権・全国高校総体をいう。

※2 大会成績は当該年度のもの。

※3 少年のランキングは同一都道府県除外や学年等を考慮したもの。

※4 長距離種目の記録については、真夏という条件も考慮する。

5 国体選考会(7月11日)前の内定(成年)について

- (1) 成年種目は日本選手権入賞者で、他に入賞者がいない場合に最終選考会前に内定を出すことがある。
- (2) 国体選考会優勝者が、内定者の本年度最高記録を上回り、入賞ラインに届いている場合は、内定者との比較を行い、内定を取り消すこともある。
- (3) 内定者(指導者)へはブロック長から直接主旨説明の徹底を図る。
- (4) 内定を受けた競技者が、国体最終選考会に出場するか否かは、内定条件を十分理解した上で該当競技者とその指導者が判断する。
- (5) 内定を受けた競技者が国体選考会を欠場する場合も、国体選考会にエントリーしなければならない。(日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者を除く)

6 その他

- (1) 「国体選考会(名称)」は選考会であり、この大会が決定戦ではない。
- (2) 最終選考会へのエントリーをしていない選手については、本国体への出場の意志がないものとみなし、選考から除外する場合もある。
(日本陸上競技連盟から当該年度の都道府県予選会免除を受けた者を除く。)
- (3) 選考された競技者が故障または国体に専念できない等の問題が生じた場合は、大会2週間前を判断期限とし、本大会で選手選考事由の力が発揮できそうにないと強化部で判断した場合は、代表選手を取り消し、選手変更をすることがある。
- (4) 代表選手は原則として代表選手合宿・練習会に参加しなければならない。
- (5) 本改訂は令和3年4月1日から適用する。